

2019年10月25日
株式会社日本政策金融公庫

第202回 信用保証利用企業動向調査結果の概要

(2019年7～9月期実績、10～12月期見通し)

〔概況〕 信用保証利用企業の資金繰りは、やや改善している。

～景況は一部に弱い動きが見られるものの、先行きについては持ち直しの見込み～

- 【金融関連】 ○ 資金繰りD.I.は、▲9.0とマイナス幅がやや縮小した。
○ 借入難易感D.I.は、▲2.0と横ばいとなった。
○ 今期に借入を実施した企業の割合は、やや増加した。

- 【保証利用】 ○ 今期に借入を実施した企業のうち、保証を利用した企業の割合は、やや減少した。
○ 来期(19年10～12月)における保証利用要請D.I.は、1.6とやや上昇した。
※ 保証利用要請D.I. …金融機関による保証利用要請が「強くなると思う」企業の割合－「弱くなると思う」企業の割合。

- 【生産等】 ○ 生産・売上D.I.は、▲7.6とマイナス幅がやや拡大した。
○ 採算D.I.は、▲8.0とマイナス幅がやや縮小した。

【特別調査】「信用保証協会付き融資の利用について」

- 信用保証に関する情報の入手先については、「金融機関」との回答割合が約9割と最も多く、次いで、「税理士、公認会計士」、「商工会・商工会議所・中小企業団体中央会」、「信用保証協会」となっている。
- 信用保証協会を利用する際のメリットについては、「融資が受けやすくなった」が最多。次いで、「無担保で借入をすることができた」、「迅速に融資を受けることができた」となっている。
- 関心のある制度融資の分野については、「経営改善、経営安定(資金繰り支援等)」が最多。次いで、「設備投資」、「雇用、人材育成」、「事業承継」となっている。

<調査の要領> 調査時点 2019年9月中旬
調査対象 9地域(北海道、宮城、東京、愛知、石川、大阪、広島、香川、福岡)の信用保証協会利用先
16,000企業を対象としており、**回答企業の約80%が従業員20人以下の小規模企業**となっています。
有効回答企業数 3,708企業
回答率 23.2%

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 中小企業事業本部 保険企画部 Tel:03-3270-2384(担当:宮本、山嶋、佐藤)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

(1) 資金繰り

・資金繰りD.I.は、▲9.0とマイナス幅がやや縮小した。

		2018/7-9	10-12	2019/1-3	4-6	7-9	10-12
資金繰りD.I.	実績	▲5.6	▲4.7	▲6.1	▲10.3	▲9.0	
	見通し	▲1.3	▲0.7	▲0.5	▲4.7	▲6.0	▲5.9

(注) 前期比。資金繰りD.I.は、「好転」企業の割合-「悪化」企業の割合。季節調整値。

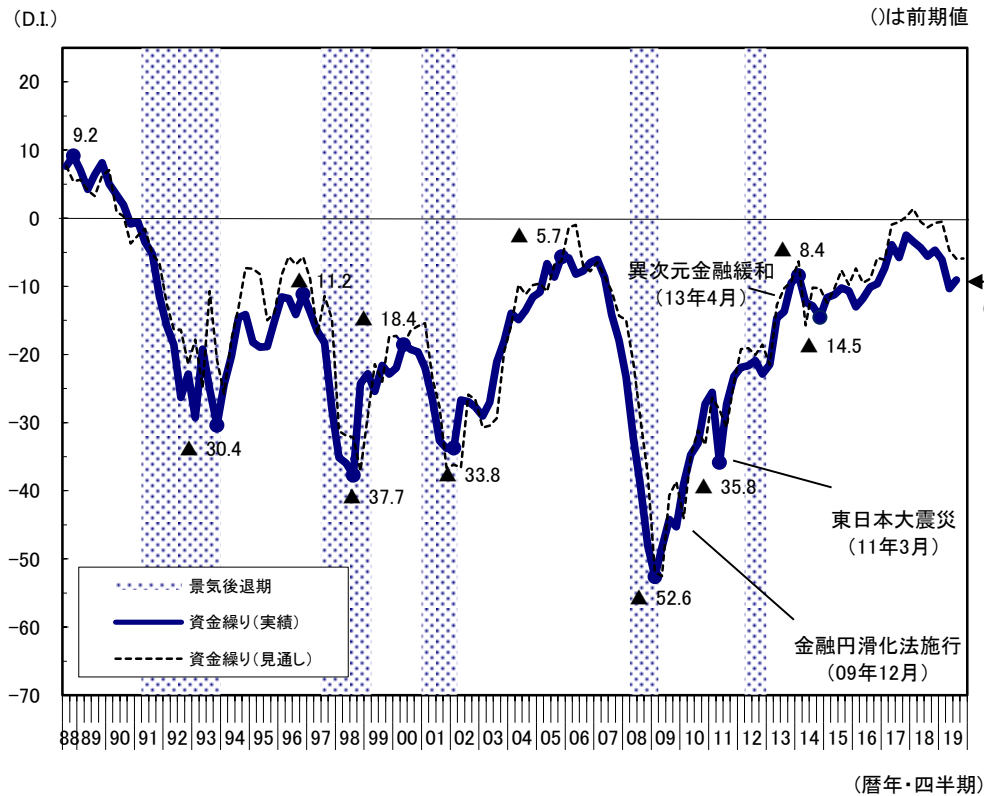
(2) 借入難易感

・借入難易感D.I.は、▲2.0と横ばいとなった。

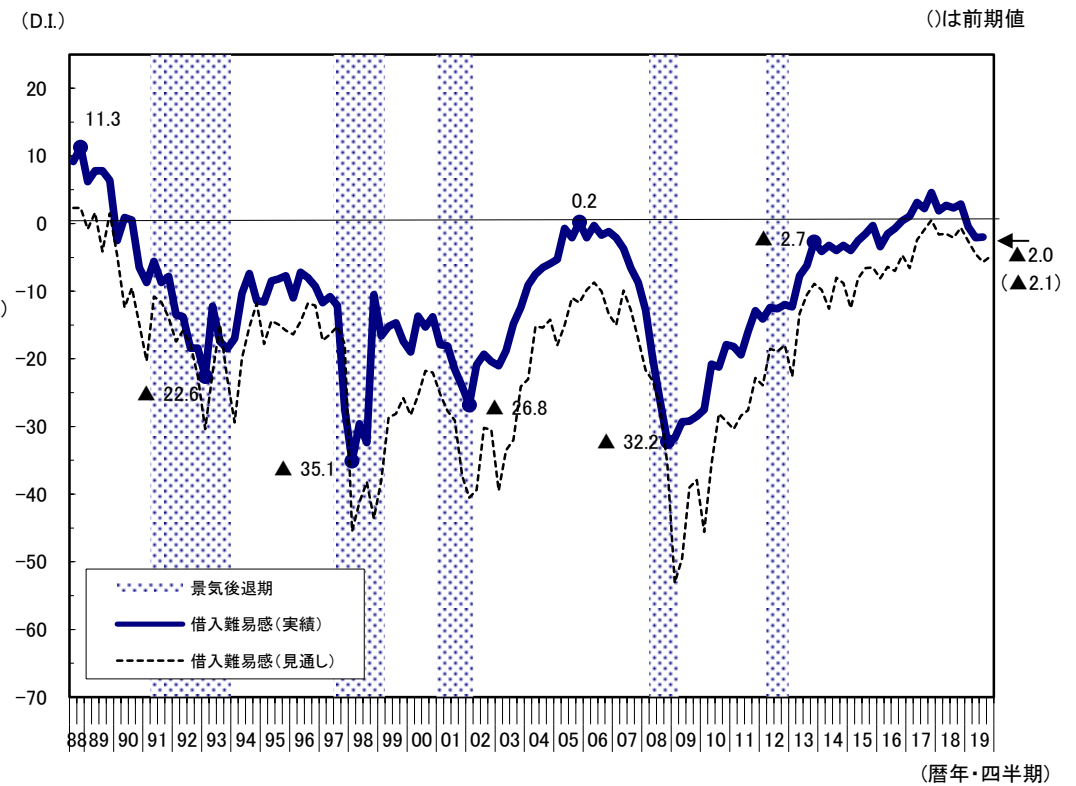
		2018/7-9	10-12	2019/1-3	4-6	7-9	10-12
借入難易感D.I.	実績	2.3	2.9	▲0.5	▲2.1	▲2.0	
	見通し	▲2.1	▲0.6	▲2.6	▲4.5	▲5.7	▲4.9

(注) 前期比。借入難易感D.I.は、「容易」企業の割合-「困難」企業の割合。原数値。

資金繰りD.I.(季節調整値)の推移



借入難易感D.I.の推移



(3) 借入状況

- ・今期に借入を実施した企業の割合は、やや増加した。
従業員規模別にみると、「21人以上」の企業層が増加した。

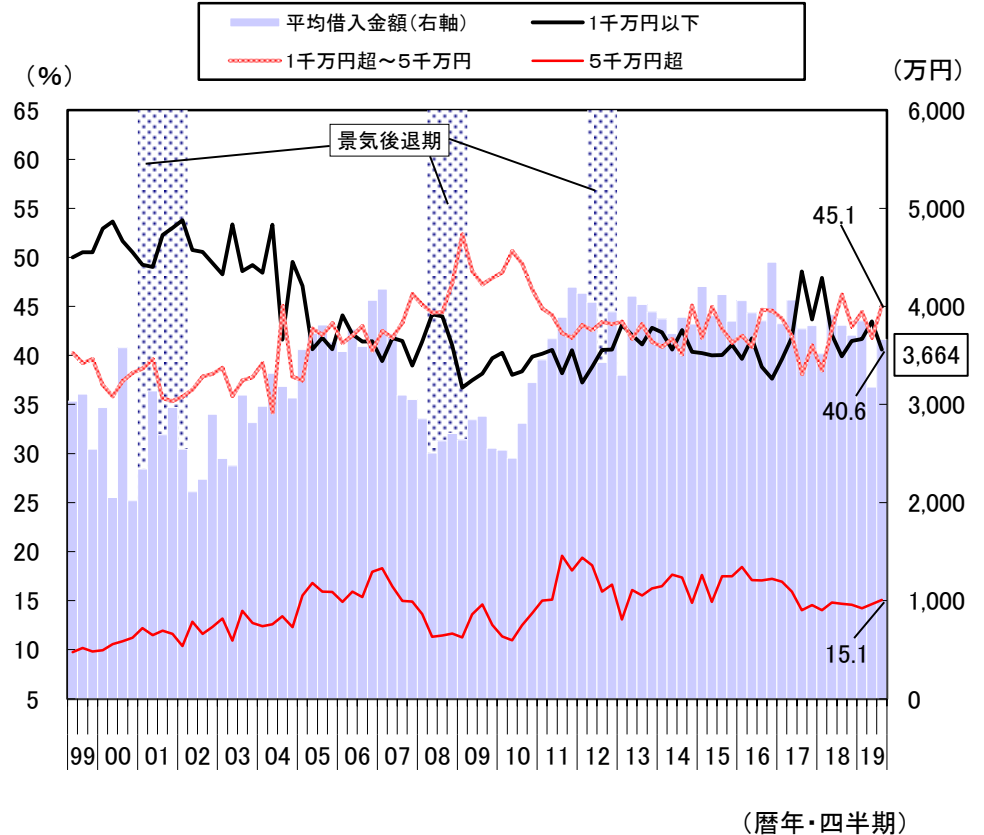
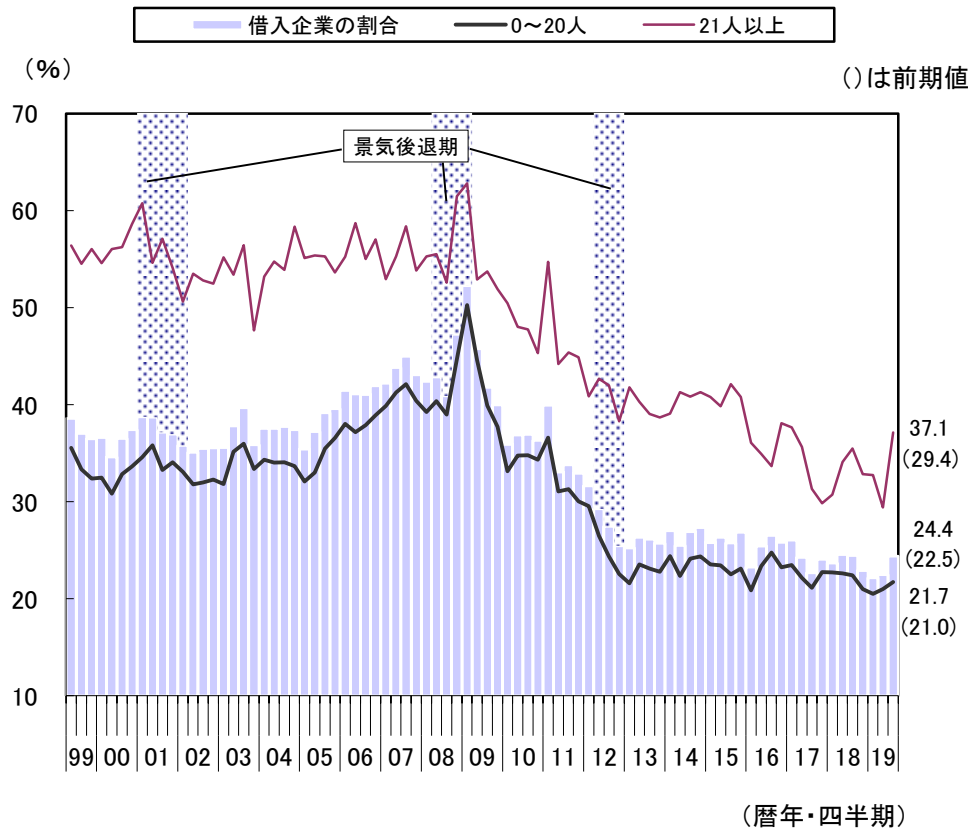
- ・一社あたりの借入金額別構成比は、「1千万円以下」がやや減少した
一方で、「1千万円超～5千万円」がやや増加した。

① 借入を実施した企業の割合(季節調整値)

	2018/7-9	10-12	2019/1-3	4-6	7-9
借入企業の割合	24.5	22.9	22.2	22.5	24.4
0-20人	22.4	21.0	20.5	21.0	21.7
21人以上	35.5	32.8	32.7	29.4	37.1

② 一社あたりの借入金額別構成比(季節調整値)

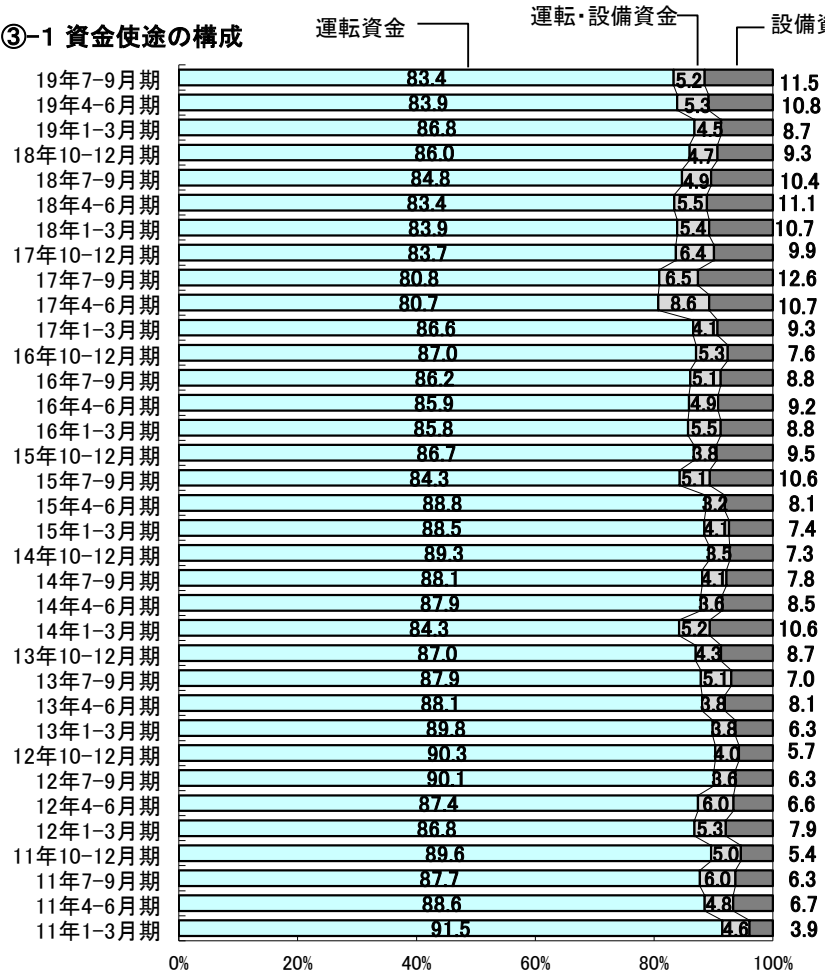
	2018/7-9	10-12	2019/1-3	4-6	7-9
1千万円以下	39.9	41.5	41.7	43.5	40.6
1千万円超～5千万円	46.2	42.9	44.4	41.8	45.1
5千万円超	14.7	14.6	14.2	14.7	15.1



(注)「借入」は、信用保証を利用した借入と信用保証を利用していない借入を合計したものである。

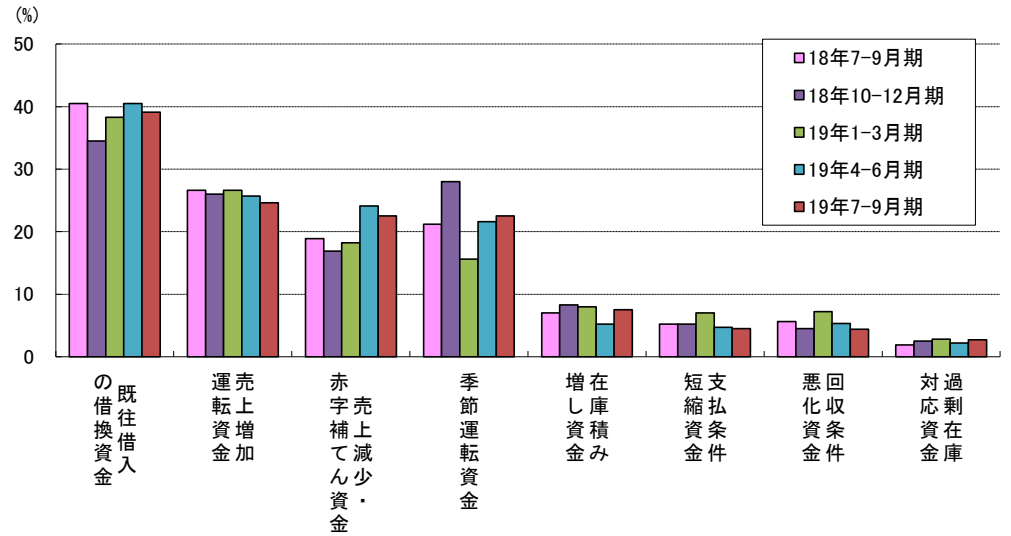
・資金用途については、設備資金が10%を上回り、引き続き高い水準となっている。

③-1 資金用途の構成



③-2 運転資金の内訳

(原数値)	既借入の借換資金	売上増加運転資金	売上減少・赤字補てん資金	季節運転資金	在庫積み増し資金	支払条件短縮資金	回収条件悪化資金	過剰在庫対応資金	
19年	7-9月期	39.1	24.6	22.5	22.5	7.5	4.5	4.4	2.7
	4-6月期	40.5	25.7	24.1	21.6	5.2	4.7	5.3	2.2
	1-3月期	38.3	26.6	18.2	15.6	8.0	7.0	7.2	2.8
18年	10-12月期	34.5	26.0	16.9	28.0	8.3	5.2	4.5	2.5
	7-9月期	40.5	26.6	18.9	21.2	7.0	5.2	5.6	1.9



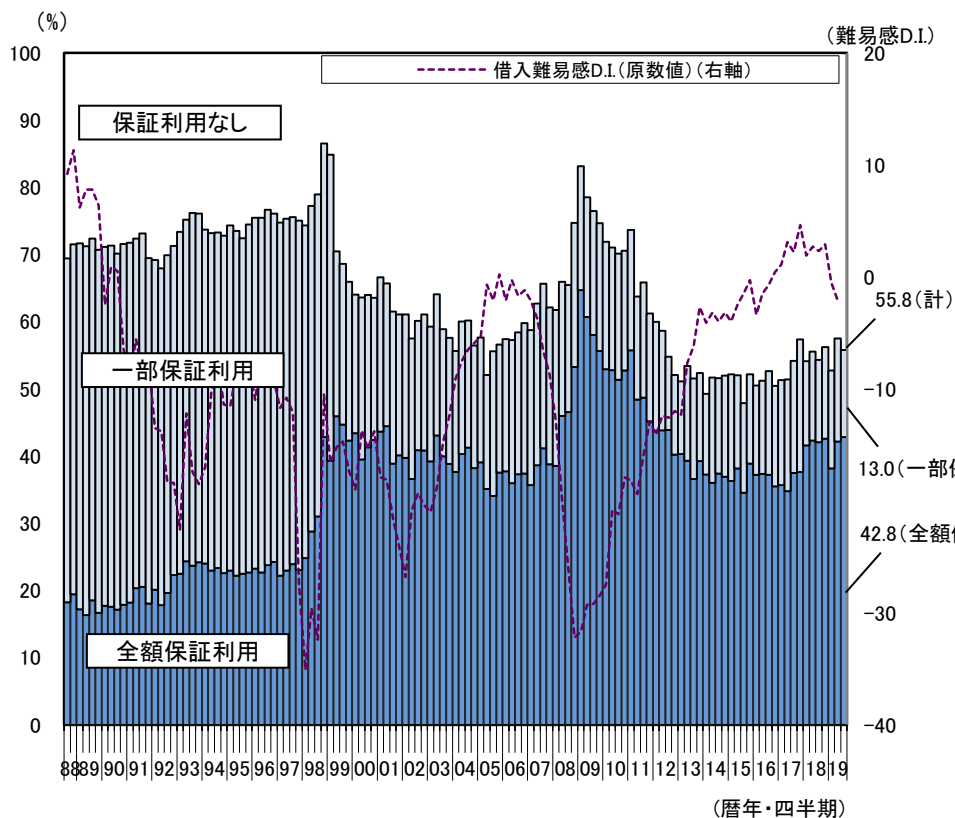
(注) 1.複数回答のため、合計は100を超える。
2.「資金用途」は、信用保証を利用した借入と信用保証を利用していない借入を合計した借入金に係るものである。

(4) - 1 保証利用状況

・今期に借入を実施した企業のうち、保証を利用した企業の割合は、やや減少した。保証利用割合別にみると、「全額利用」は横ばいである一方、「一部利用」はやや減少した。

	2018/7-9	10-12	2019/1-3	4-6	7-9
保証利用企業の割合	54.3	56.2	52.7	57.5	55.8
全額利用	42.0	42.6	38.1	42.2	42.8
一部利用	12.3	13.6	14.6	15.3	13.0
保証利用がない企業の割合	45.7	43.8	47.3	42.5	44.2

借入企業に対する保証利用企業の割合(季節調整値)



(注)当該四半期中に新規借入を行った企業数について、「保証利用なし」、「保証付きの借入のみ(全額保証利用)」、「保証付きの借入と保証を利用しない借入を併用(一部保証利用)」の区分で集計したもの。

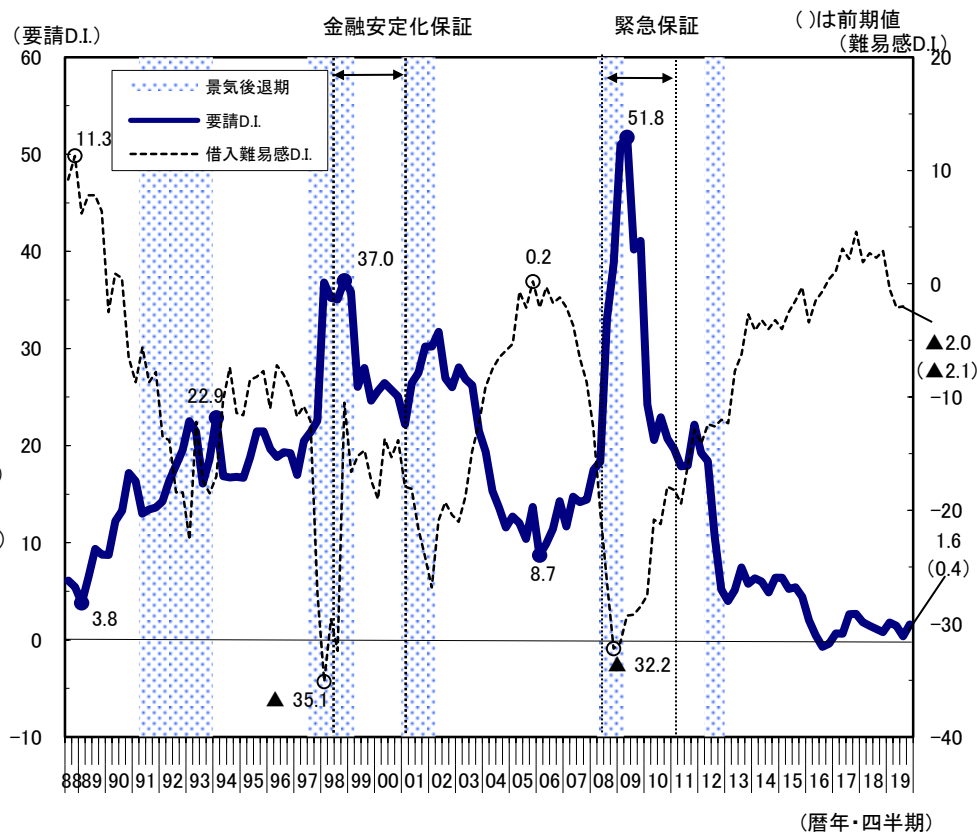
(4) - 2 金融機関からの保証利用要請

・来期(19年10~12月)における保証利用要請D.I.は、1.6とやや上昇した。

	2018/7-9	10-12	2019/1-3	4-6	7-9	10-12
要請D.I. 見通し	1.1	0.8	1.8	1.5	0.4	1.6
借入難易感D.I. 実績	2.3	2.9	▲ 0.5	▲ 2.1	▲ 2.0	

(注) 1.前期比。要請D.I.は、「強くなると思う」企業の割合-「弱くなると思う」企業の割合。季節調整値。
2.借入難易感D.I.は、「容易」企業の割合-「困難」企業の割合。原数値。

金融機関からの要請D.I.(季節調整値)及び借入難易感D.I.の推移



(5) 生産・売上

・生産・売上D.I.は、▲7.6とマイナス幅がやや拡大した。

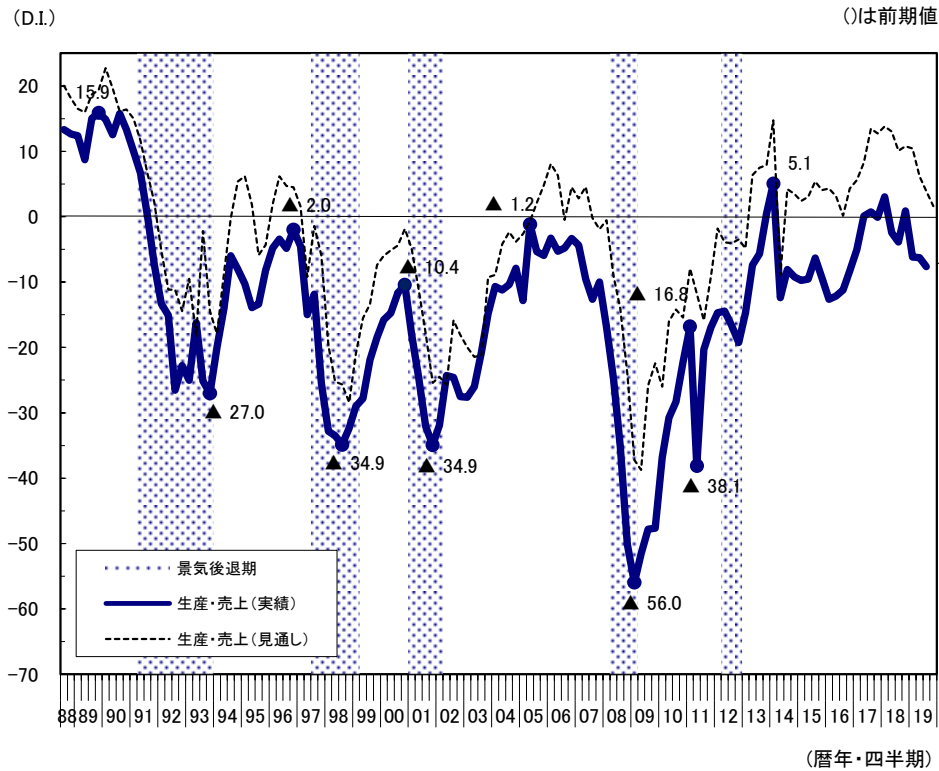
		2018/7-9	10-12	2019/1-3	4-6	7-9	10-12
生産・売上D.I.	実績	▲3.9	0.9	▲6.2	▲6.2	▲7.6	
	見通し	10.1	10.7	10.4	6.1	3.9	1.6

(注) 前期比。生産・売上D.I.は、「増加」企業の割合-「減少」企業の割合。季節調整値。

生産・売上（業種別）

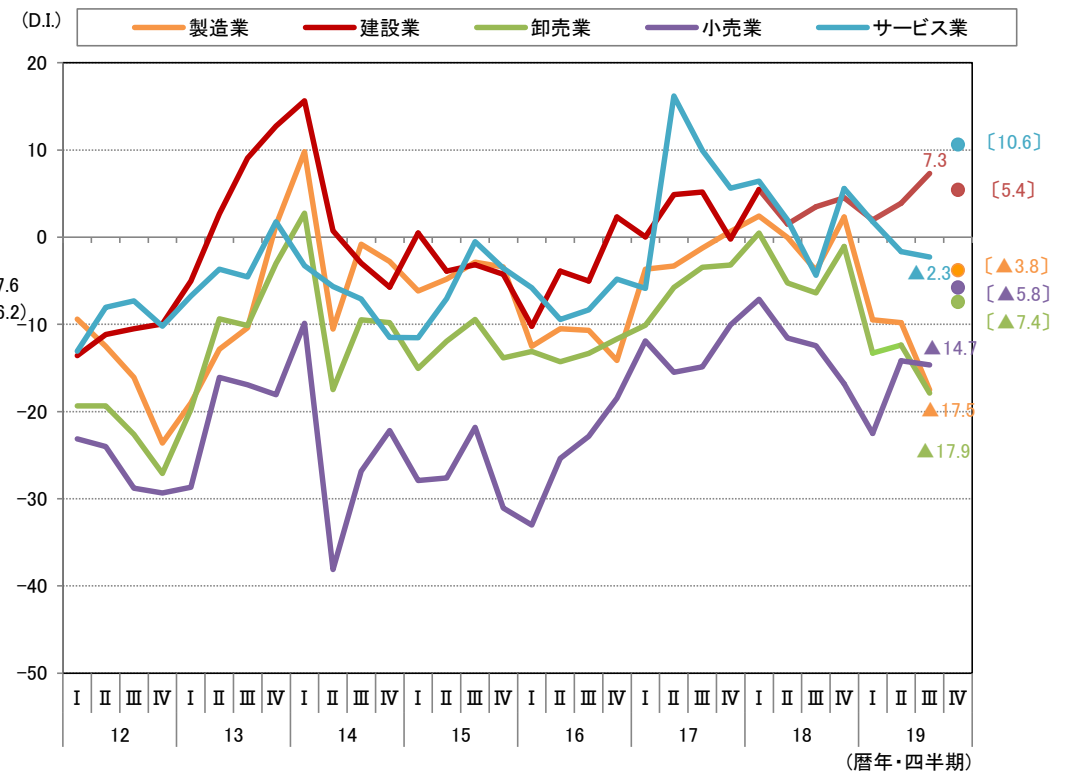
- ・生産・売上げD.I.(業種別)は、建設業がやや上昇した一方で、製造業、卸売業のマイナス幅が拡大した。
- ・来期(10~12月)の見通しは、建設業を除き、改善を見込んでいる。

生産・売上D.I.(季節調整値)の推移



業種別生産・売上D.I.(季節調整値)の推移

()は来期見通し(当期比)



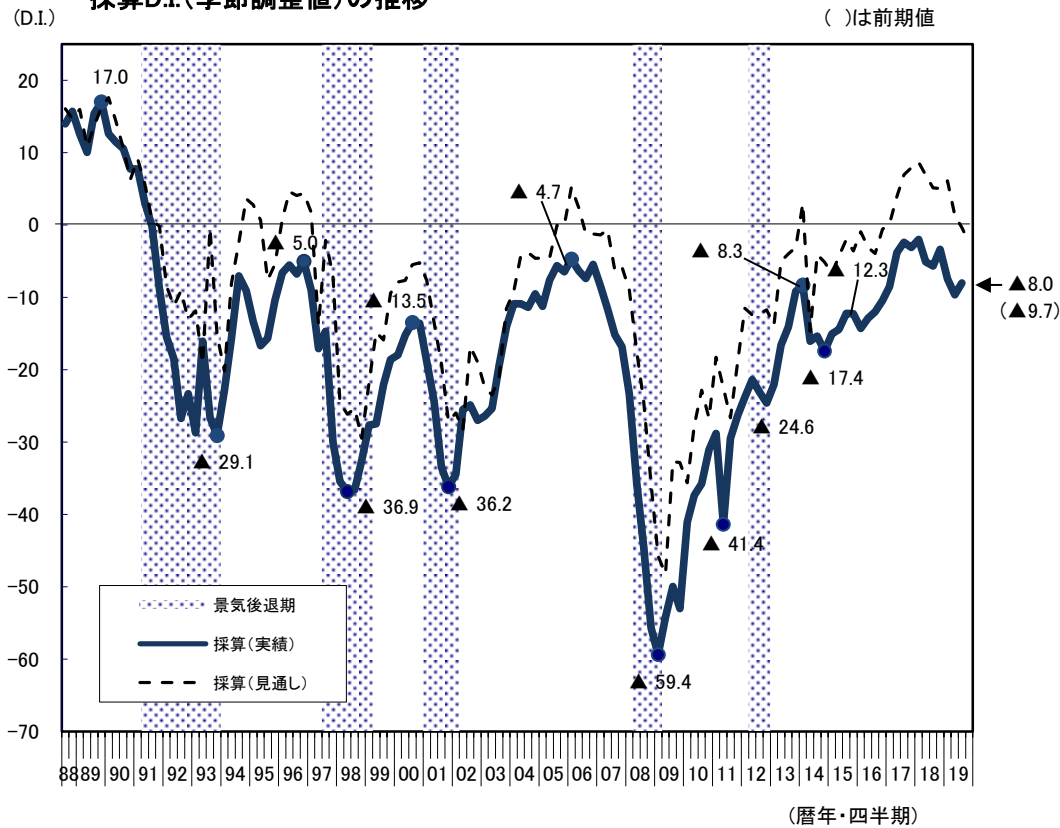
(6) 採算

・採算D.I.は、▲8.0とマイナス幅がやや縮小した。

		2018/7-9	10-12	2019/1-3	4-6	7-9	10-12
採算D.I.	実績	▲ 5.7	▲ 3.4	▲ 7.4	▲ 9.7	▲ 8.0	
	見通し	5.1	5.0	6.1	1.3	▲ 0.3	▲ 2.5

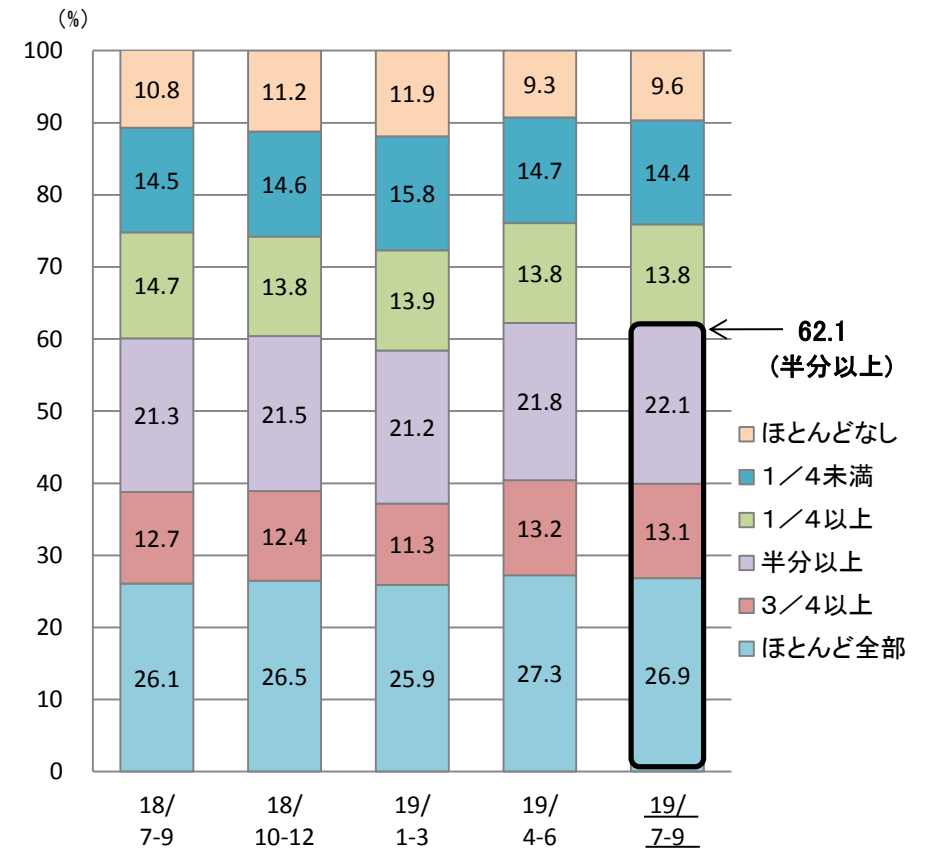
(注) 前期比。採算D.I.は、「好転」企業の割合-「悪化」企業の割合。季節調整値。

採算D.I.(季節調整値)の推移



(参考) 保証利用割合

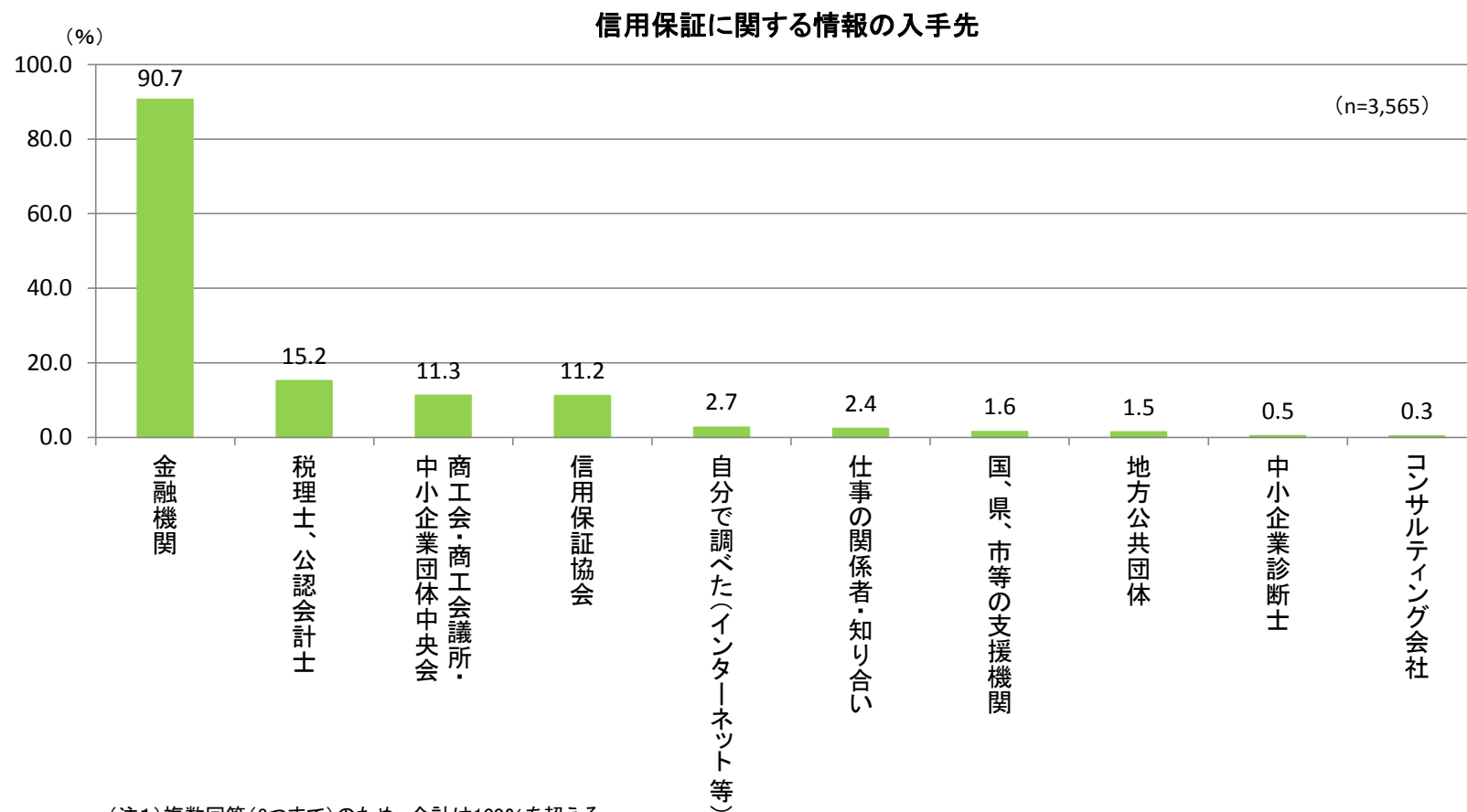
・借入総残高に占める信用保証利用の割合については、半分以上と回答した企業が62.1%と横ばい。



特別調査

1. 信用保証に関する情報の入手先について

・信用保証に関する情報の入手先については、「金融機関」が約9割と最も多く、次いで、「税理士、公認会計士」、「商工会・商工会議所・中小企業団体中央会」、「信用保証協会」となっている。



(注1)複数回答(3つまで)のため、合計は100%を超える。

(注2)回答割合の高かった上位10機関を表示したもの。

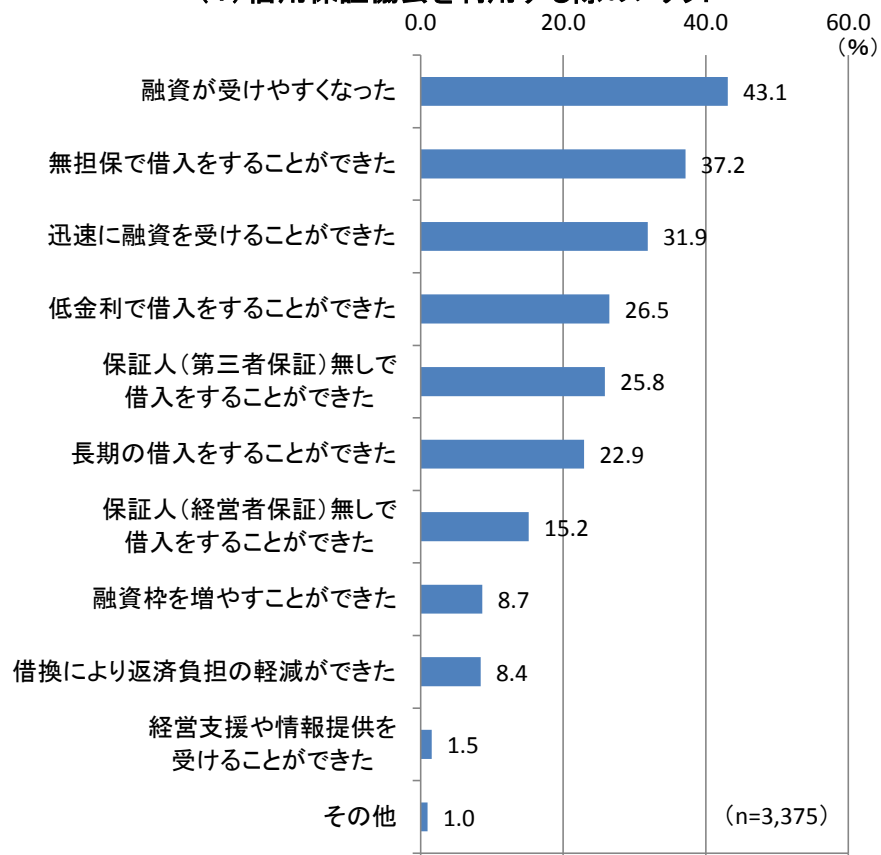
(注3)国、県、市等の支援機関は、都道府県等中小企業支援センター、中小企業基盤整備機構等。

(注4)地方公共団体は、県庁、市役所等の相談窓口等。

2. 信用保証協会を利用する際のメリットについて

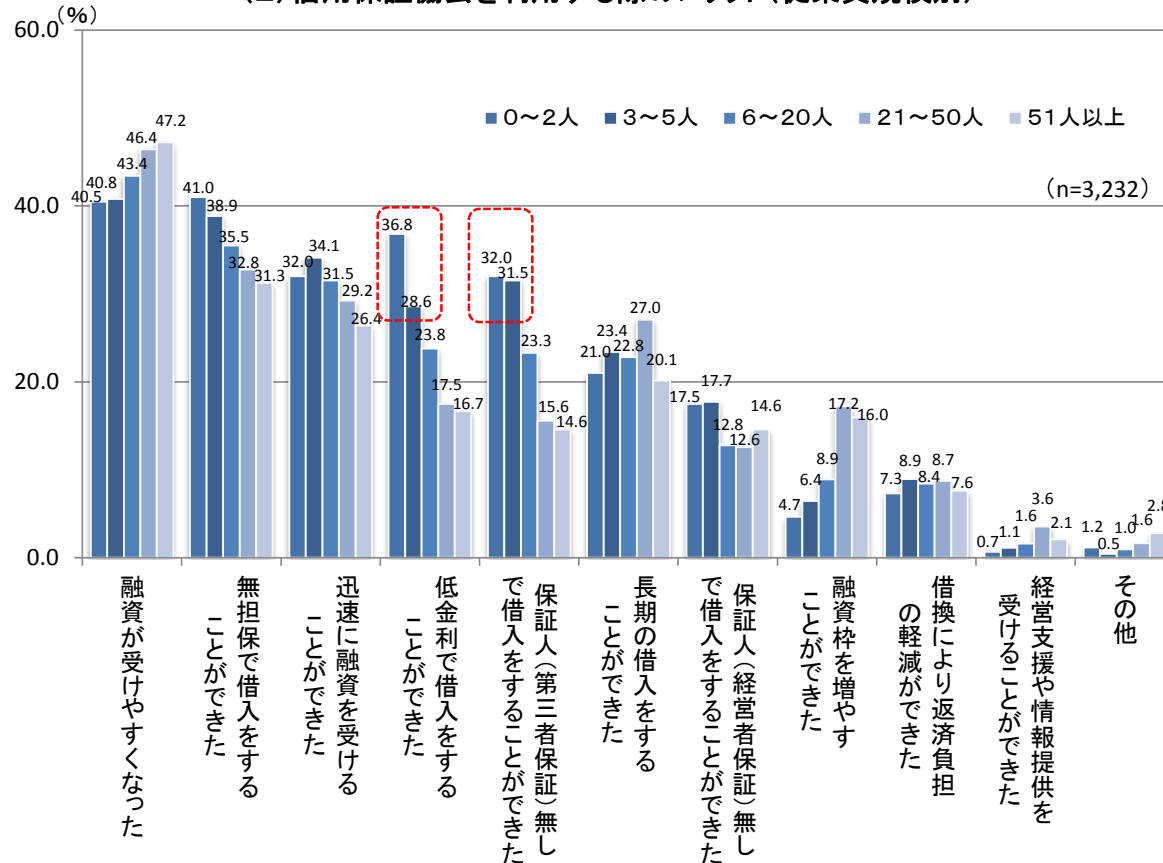
- ・信用保証協会を利用する際のメリットについては、「融資が受けやすくなった」が最多。次いで、「無担保で借入をすることができた」、「迅速に融資を受けることができた」となっている。
- ・また、従業員規模別でみると、5人以下の企業では、「低金利で借入をすることができた」、「保証人(第三者保証)無しで借入をすることができた」の回答割合が高い。

(1) 信用保証協会を利用する際のメリット



(注)複数回答のため、合計は100%を超える。

(2) 信用保証協会を利用する際のメリット(従業員規模別)



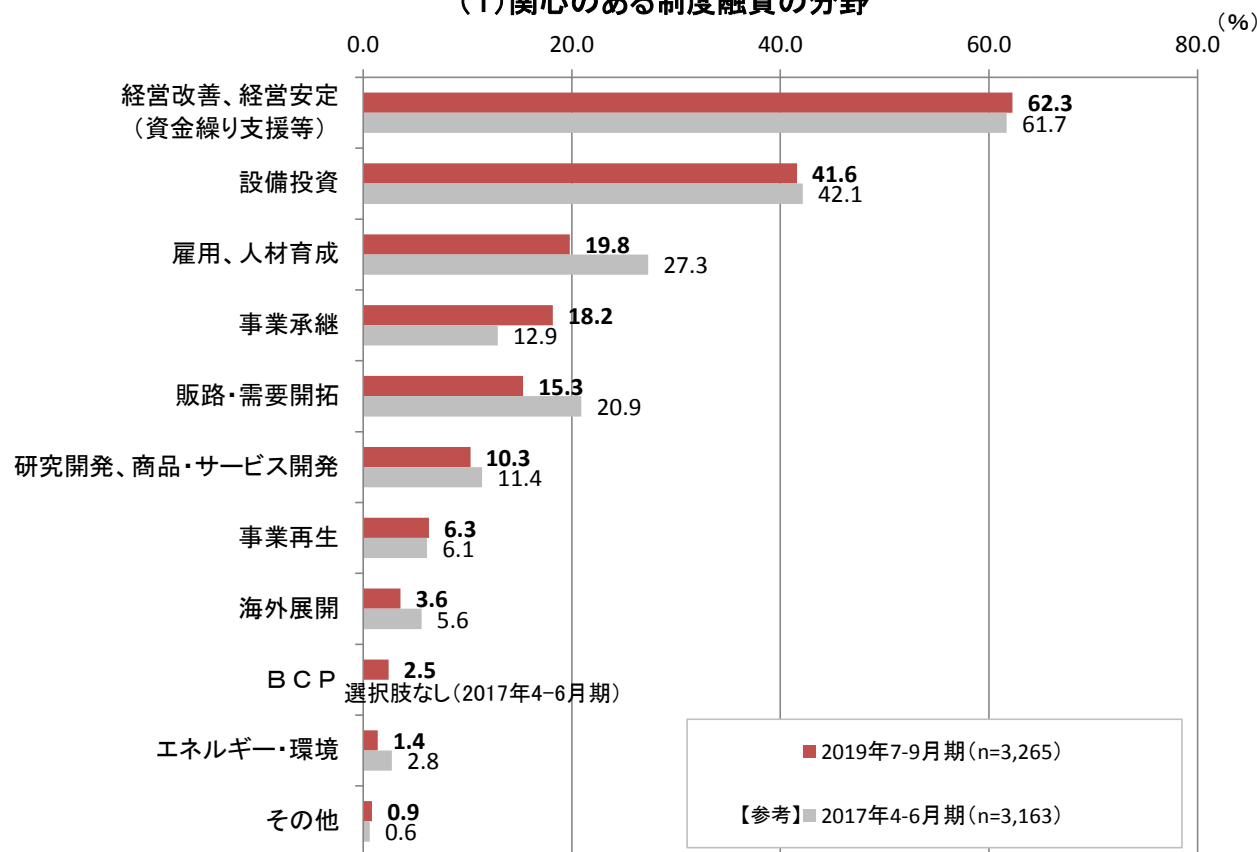
(注)複数回答のため、合計は100%を超える。

3. 信用保証に係る制度融資について

- ・関心のある制度融資^(注)の分野については、「経営改善、経営安定(資金繰り支援等)」が最多。次いで、「設備投資」、「雇用、人材育成」、「事業承継」となっている。
- ・業種別に上位3位をみると、いずれの業種でも「経営改善、経営安定」、「設備投資」があがっている。また、卸売業では「販路・需要開拓」が、建設業及びサービス業では「雇用、人材育成」が、製造業及び小売業では「事業承継」があがっている。

(注) 制度融資: 各地方公共団体が信用保証協会及び金融機関と連携・協力して、中小企業者が事業に必要な資金を円滑に調達できるよう支援する制度

(1) 関心のある制度融資の分野



(注) 複数回答のため、合計は100%を超える。

(2) 関心のある制度融資の分野(業種別)

(単位: %)

業種	1位	2位	3位
製造業	設備投資 57.7	経営改善、経営安定 57.5	事業承継 16.5
建設業	経営改善、経営安定 61.4	設備投資 43.3	雇用、人材育成 27.1
卸売業	経営改善、経営安定 65.0	販路・需要開拓 26.2	設備投資 25.9
小売業	経営改善、経営安定 66.5	設備投資 38.1	事業承継 19.3
サービス業	経営改善、経営安定 62.8	設備投資 40.2	雇用、人材育成 25.7

(注) 複数回答のため、合計は100%を超える。

(n=3,265)